

ウクライナ 人道危機 写真展

— 誰も取り残さない。
紛争からも飢餓からも。 —



©ウクライナ赤十字社

2022.12.19 [月]-23 [金] 8:30-17:00/入退場自由
(最終日は16:00まで)

会場 秦野市役所 本庁舎 2階ホール

主催 日本赤十字社神奈川県支部 秦野市地区

日赤 かながわ 🔍

 日本赤十字社 神奈川県支部
Japanese Red Cross Society 秦野市地区

ウクライナ人道危機 —赤十字の活動—

2022年2月24日に激化したウクライナをめぐる人道危機に対し、赤十字は世界中に持つネットワークを生かして、ウクライナ国内そして周辺国で紛争の影響を受けて苦しんでいる人びとに寄り添い、幅広い活動を展開してきました。

日本赤十字社では、現地へ職員を派遣すると共に、3月2日から「ウクライナ人道危機救援金」の募集を開始。本社には9月6日時点で68億1,989万6,242円、県内では9月27日時点で1億202万8,080円に上る多額の寄付が寄せられています。

「誰も取り残さない。
紛争からも飢餓からも。」

ヨーロッパの紛争や、新型コロナウイルス感染症のまん延の陰で、アフリカの食料危機が深刻化していることは、あまり知られていません。

注目される人道危機があるその一方で、目が届かない場所、手が届かない場所が生まれているのです。



日本赤十字社は「苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命のもと、世界中の災害や紛争、病気に苦しむ人々を救うため、緊急時の救援や復興支援、予防活動に取り組んでいます。

寄付するあなたも赤十字です
「NHK海外たすけあい」についてはこちら

